

## 世界基準の環境対策と 社員の健康被害リスク 削減の取組



## 手島精管株式会社

館林市



- ▶ 代表者: 手島 由紀子
- ▶ 設立年月日: 1972年9月1日
- ▶ 資本金: 2,000万円
- ▶ 従業員数: 52人
- ▶ 住所: 館林市下早川田町306-1
- ▶ TEL: 0276-73-1173
- ▶ Mail: info@teshimaintl.com
- ▶ URL: http://www.teshima.co.jp

当社HPへは  
こちらから→



### 企業紹介

当社は、1970年の創業以来、医療注射針用のステンレスチューブを製造しているメーカーとして、国内外の多くの顧客に受け入れられ、成長を遂げてきました。

2014年に現社長が就任後はグローバル戦略に拍車をかけ、欧米をはじめとした医療機器メーカーやそのサプライヤーからの受注が増加。当社で開発された環境改善洗浄プロセスを強みに海外営業活動を強化しています。2016年には環境ISO14001を取得し、環境に配慮した高品質な製品を世界に提供することでステンレスチューブのスペシャリストとして成長し続けています。

### 経緯・背景

医療注射針用ステンレスチューブ製造の洗浄プロセスにおいて、従来は安価で洗浄力のある有害物質のトリクロロエチレン（トリクレン）が使用されています。水質汚濁防止法が施行されて以降、当社もトリクレンを含む有害物質の使用は厳しい条件をもって使用していましたが、欧米の顧客の増加・および国内外の環境対策強化に伴い、従業員の安全と作業環境の改善を方針とし、環境対策の一環として、有害なトリクレンを使用することなく水で洗浄する洗浄プロセスの開発に取り組むこととなりました。

### 具体的な取組

当社は、従来、トリクロロエチレンを使用して行っていた洗浄工程を見直し、水溶性引き抜き油の開発と新洗浄機開発により、有害物質の使用を激減させた洗浄プロセスを確立しました。

この洗浄プロセスの導入により、地球環境に優しく、かつ、PRTR法（化学物質排出把握管理促進法）に基づく各種対応や手続きが不要になること、更に何よりも洗浄作業者の健康被害のリスクが大幅に軽減され、従業員が安全な職場で安心して作業ができることは、大きな成果となりました。

特に欧米では有害物質の輸入規制があり、医療分野において材料を提供する当社としては、今後、さらに環境に対する意識が強くなる世界に向けてPRする意向です。医療注射針の需要は、世界人口の増加に伴い増加傾向にあるほか、先進国においては、生活習慣病から発生する病気の治療に対して、多くのグローバルメディカル企業が医療機器技術を向上させており、それに伴う、特殊な注射針の需要も増加している事実があることから、今後は、さらに世界に向けて（営業を強化し、）日本の高品質製品「Made In Japan Products」をPRしたい意向です。

### ◆当社で製造する医療用ステンレスチューブ



ガイド針



様々な医療用製品



採取針

### 成果・効果

- トリクロロエチレン使用量17,280L/年の削減（60%削減）
- 作業環境測定結果の管理区分（作業環境管理の状態）が第3管理区分（適切でない）から第1管理区分（適切）に改善
- 従業員の健康被害リスクの改善
- 環境ISO14001の取得

### 当社にとってのSDGsと、その展望

以前からGlobal Citizenshipという考え方に賛同していた代表が、SDGsの存在を知ったことが当社のSDGs活動を促進させた大きな機会でした。2020年に社内でプロジェクトチームを発足させ、若手社員が中心となったSCR活動（献血やフードバンクへの寄付活動等）を展開。SDGs知識の社内テストやSDGs推進に貢献した社員にはレベルに応じて社内評価に反映する等のSDGs推進体制の加速化に努めています。SDGsのプロジェクトは部署を横断して組織されるため、普段関わりのない部署ともコミュニケーションが生まれ社内の風通しをよくしています。また、若手社員が中心となってSDGsの全社的なプロジェクトの運営をすることでPDCAサイクルの回し方を学ぶ良い経験となり、次世代リーダーの人材育成の場として会社組織のサステナビリティ向上につながる活動となっています。